

石屋のイロハ(2)

今回は、石工職人が使う道具についての話をします。

当社では、手加工で石の成形や表面仕上げを行うための「せつとう」「のみ」「こやすけ」「ビシャン」「長刃」といった昔ながらの石工道具を今でも使っています。これらの道具は鋼鉄製ですが、使えば当然すり減りますので、その一部は下の写真のような鍛冶作業を行って職人自らメンテナンスしています。

ところで、今の石屋業界ではタンガロイなどの超合金製の工具を使って加工するのが主流です。非常に硬い素材で、鍛冶作業をする必要がないので便利です。当社でも必要に応じてタンガロイの工具で加工しています。

タンガロイの工具を使いつつ、**手間のかかる昔ながらの道具も今なお使っているのは、一つは加工に応じて必要な道具を自分で工夫して作ることができるから。道具作りも大事な技術です。もう一つは、タンガロイの工具では出せない仕上がりの「味」があるからです。タンガロイを使うと仕上がりが固くなるように思います。タンガロイに比べて軟らかい鋼鉄製の道具を使うことによって、仕上がりに柔らかさが生まれるのです。**

手加工の技術とともに、このような石の仕上がりの「味」の違いも含めて伝承するために、今後も昔ながらの道具を使った加工を続けていきます。

【齋藤 繁樹】



故人を思い出させるお墓

七月に父が肺炎で亡くなりました。この父(と母)がいて自分がここにあるのだと、昔々から連綿と繋がっていることを改めて考えました。遺影や仏壇に向かって何かやと話しかけている自分がいます。こうして故人を思い出し、色々考えることを仏教では「出合い直し」と言うので、先日の四十九日法要でお寺様より教わりました。

実家のお墓は大正十四年に祖父が建てたものです。祖父が書家だったこともあり、彫ってある文字は祖父の書によるものです。勢いのある筆運びで若さを感じさせる墓字は、お参りするたびに祖父の姿も思い出します。

お墓を建てるお客様方は、亡くなった大切な人の事を偲び、思い出をこめることを考えられますので、色々御相談を重ねますが、完成して喜んで頂いた時が仕事冥利につきる瞬間ですね。実家のお墓も、いつかリフォームする時には墓字の拓本をとってから磨き直し、祖父の字をまた彫り直す方法でしてほしいな、などと石屋の嫁になった私は(実家を出た者であるのにもかかわらず)考えたりしています。

【齋藤 美代子】

暮らしに石を(2)



コーヒー豆用の石臼

手動でコーヒー豆を挽くのは力仕事ですが、石臼だと石の重みで軽〜く挽けます。熱があまり発生しないので挽いた豆の劣化も抑えられます。

編集後記

今号もお読みいただきありがとうございました。文章量が多すぎた前号(夏号)の反省から、今号は写真が多めにしました。そのほうが記事づくりも編集作業もラクちんだということがよく分かりました。

さて、食欲の秋です。私はこの半年で8kg太りました。すると腹の肉に圧迫されて胃袋が小さくなりました。いろいろ食べたいのにすぐ満腹になってしまって食欲が満たされない…というのが最近の悩みです。

次号は来年1月の発行予定です。ではまた。

【齋藤 賢太】

このニュースレターに関するお問い合わせ・ご意見・ご要望はこちらまでお願いします。お届け先の変更や、ニュースレター送付不要の際もお知らせいただければ幸いです。(担当: 齋藤 賢太)

(有) 齋藤石材店 〒950-3321 新潟市北区葛塚4804 Tel:025-386-3491 Fax:025-386-3493 E-mail:saitougs@beach.ocn.ne.jp ホームページ:http://www.saitougs.com/

齋石季報

平成29年 秋号
(第3号)

(有)齋藤石材店
新潟市北区葛塚

ごめんください。夏もお彼岸も終わってしもたろも、皆さんなじらね？
お彼岸を過ぎたらあつという間に肌寒くなりましたね。
実りの秋を楽しみつつ冬の準備を。お墓も冬に備えましょう。

最近のおしごと報告①

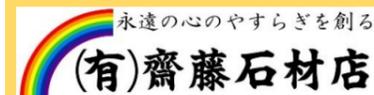


【上】明正寺(北区葛塚松ノ町)の合葬墓の建立工事をさせていただきました。すべて茨城県産稲田石を使用し、当社職人100%手加工による丁寧なビシャン仕上げを施しています。この合葬墓は北区鳥屋の明正寺墓地にあります。写真は9月20日に行われた開眼式の様子です。



【左】長行寺(北区内島見)の親鸞聖人像の建立(台座の制作・設置)工事をさせていただきました。こちらも茨城県産稲田石使用・当社職人100%手加工のビシャン仕上げです。

檀家の皆さまをはじめ、近所の皆さまにもご覧いただき、お参りしていただければ幸いです。



ホームページ: <http://www.saitougs.com/>
E-mail: saitougs@beach.ocn.ne.jp

齋藤石材店 新潟 で検索

本社・工場
新潟市北区葛塚(正尺)4804
日本海沿岸東北自動車道
豊栄新潟東港I.C.すぐ近く
Tel: 025-386-3491
Fax: 025-386-3493



太平店
新潟市東区太平2丁目1-31
国道113号沿い
新潟空港の目の前です
Tel/Fax: 025-275-9638

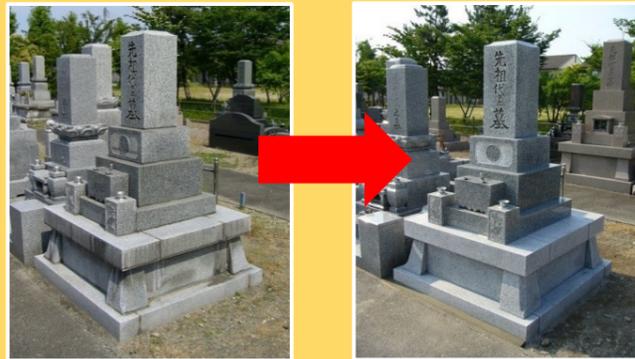


最近のおしごと報告②

お墓直し

のおしごとが増えてます

近ごろ、「お墓を直したい」というご相談やお問い合わせが増えてます。石で作られたお墓はもちろん頑丈ですが、屋外で常に雨風にさらされているので時間とともに劣化もします。皆さまにとって大切な方が眠る大切なお墓です。これからも末永く守っていただきたく思いますので、私どもも誠心誠意お手伝いいたします。特に、建ててから20～30年以上経った古くからのお墓をお持ちの皆さま、お墓の様子を確認してみて、お直しが必要かどうかご検討されてはいかがでしょうか？



【目地直し・クリーニング】

「目地を直したい」というご相談をいただき、お墓の様子を確認したところ、目地の劣化とともにお墓全体が水垢やセメントのアクなどでかなり汚れていました。そこで、目地の修繕と合わせて墓石・積石のクリーニングを提案させていただき、実施いたしました。まるで建てた直後のようにきれいになったと喜んでいただけました。



【花立の改修】

「石の上に取り付けるタイプのステンレス製花筒が外れてしまった」ということで修理を承りました。より丈夫で安定性の高い、石の中に花筒を入れるタイプの花立を提案させていただき、改修いたしました。

お墓直しの工事代金は、工事内容、墓石・墓地区画の形や大きさなどに応じて異なります。当方でお墓の現状確認をさせていただき、その状況に適したお直しを提案いたしますので、どうぞお気軽にご相談・お問合せくださいませ。



【お墓の傾き直し】

「お墓が傾いて崩れそうになっている」というご相談をいただき、お墓の様子を確認したところ、墓地の土留めの状態が悪く、地盤がゆるんでお墓が傾いていました。そこで、土留めの補強と土間部分のコンクリート舗装、墓石の取付直しと耐震補強の各施工を提案させていただき、実施いたしました。

夏休みイベント「石屋で遊ぼう！石屋で学ぼう！」 やりました

石ころに穴や切り込みを開けて一輪差しやミニ石灯笼を作る「石ころ工作」や、石ころを積み上げるだけなのになぜか熱中してしまう「積み石あそび」で石とふれあってもらい、石で作ったいろんなものや石材加工に関する展示を見てもらいました。齋藤石屋初めてのイベント開催でしたが、来てくれたみんなに楽しんでもらえてよかったです。またやります。



～～ 齋藤石材店 秋のイベント出展予定のお知らせ ～～

『2017北区秋の祭典 キテ・ミテ・キタク』

日時: 11月23日(祝) 場所: 新潟競馬場
石材加工製品の展示・販売、お墓・仏事相談コーナーのほか、石を使ったお遊びや加工体験ができるコーナーを設ける予定です。

『にいがた・技のにぎわいフェスタ2017』

日時: 11月23日(祝) 場所: 新潟市産業振興センター
県石匠(新潟県石材商工業協同組合)の一員として出展し、石材加工の実演・体験と作品の展示・販売を行う予定です。

なんと、同じ日に開催する二つのイベントに出展する予定です・・・大丈夫かな・・・どうぞお越しください。

お墓ケア教室 (秋編)

ポイント①

お盆・お彼岸のお墓参りの後始末を

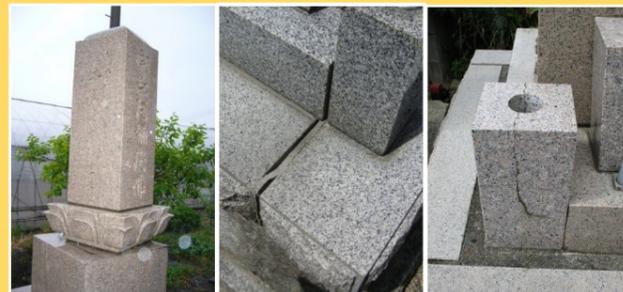


お盆やお彼岸のお墓参りのあと、ロウソクや線香、お花やお供え物などを置きっぱなしにしてませんか？ロウソクや線香の燃えカスは頑固な汚れに、枯れた草花は墓石の色変わりを発生させる原因になります。雪が積もる前に、これらの後片付けと簡単なお掃除(固く絞った雑巾で水拭き)をしておく、春先・お彼岸前のお墓掃除の苦勞がグッと減りますよ。

ポイント②

冬を迎える前に目地のチェックを

目地が劣化していると、すき間に雨水などがしみ込み、冬の寒さで凍って、下の写真のような目地切れや部材のズレを生じる原因になります。雪が降る前に目地の状態を確認して、劣化している場合は修繕しておきましょう。また、ステンレス筒(オトシ)を入れてない花立は、穴の中に入った水が凍結・膨張してヒビ割れを生じてしまう場合があります。



この2点のほかにも、お墓の汚れやメンテナンスに関してお困りごとなどありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。